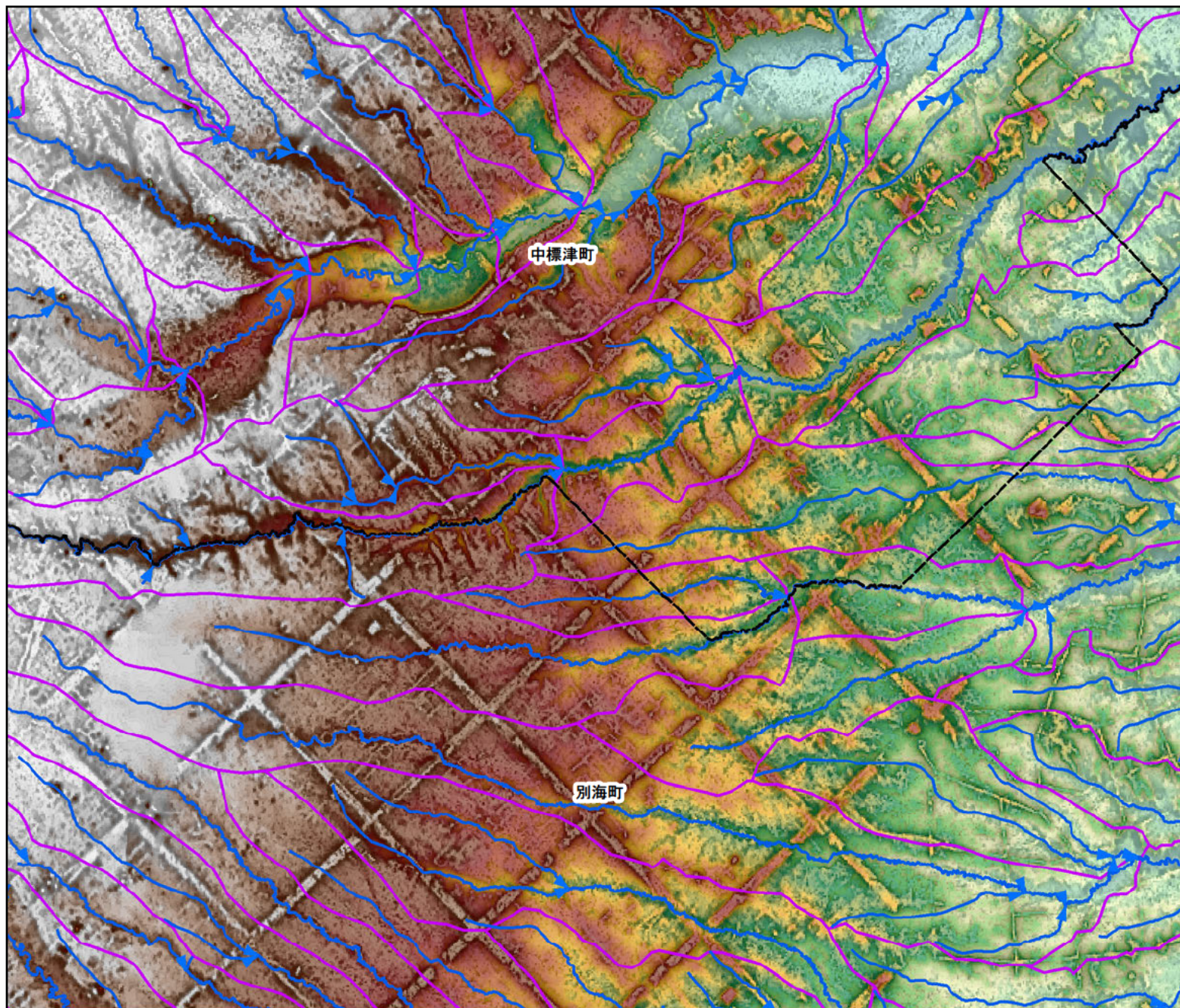
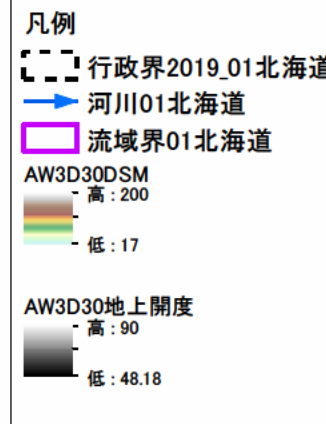


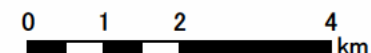


作成GISデータセットサンプル



河川と流域界の背景にはAW3D30で作成したDSMと地上開度を重ねて表示しています。どちらもこのホームページで提供しています。AW3D30は「標高+地上の建物高もしくは樹高」であり、カラマツの格子状防風林が美しく浮かび上がります。地理院の標高データ(このホームページで提供しているデータ)との使い分けが有効になる場合があります。

1:100,000



<データの出典>

標高、地上開度、地下開度、傾斜データの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報数値標高モデルデータを使用しました。(承認番号 平24情使、第109号)

行政界2019、河川、流域界データの作成に当たっては、国土数値情報(国土交通省)の行政区域、河川(線)、流域界・非集水域(面)データを使用しました。

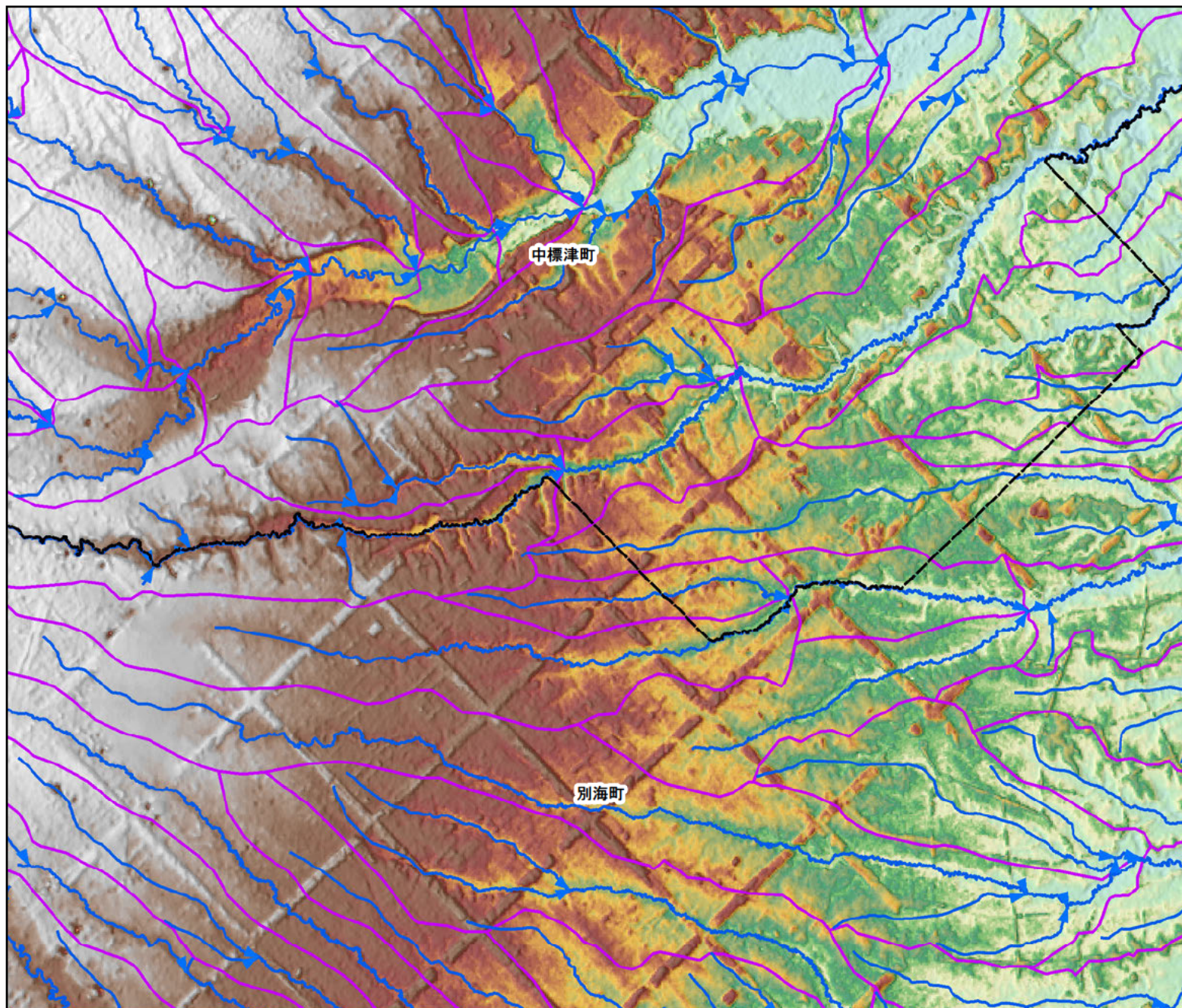
なお、行政区域2019データは2019年1月1日時点で掲載されていたデータ、行政界区域を除く国土数値情報のデータについては、2012年5月31日時点で掲載されているデータと同一です。

標高、傾斜、地上開度、地下開度データは2011年9月30日時点で掲載されていたデータを編集加工して使用しています。

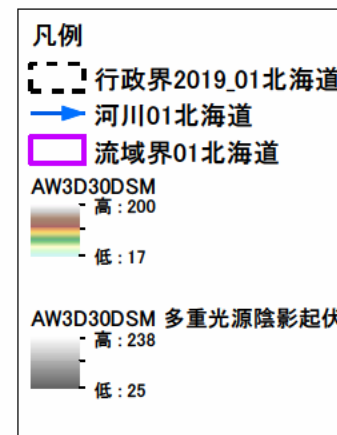
行政界2019年版データの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用しました。(承認番号 令元情使、第277号)

AW3D30解析地形データの作成に当たっては、宇宙航空研究開発機構(JAXA)から提供されているALOS全球数値地表モデル(DSM)「ALOS World 3D - 30m (AW3D30)」を加工して使用しました。

写真データには国土地理院の地理院タイルのデータを使用しています。

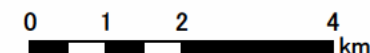


作成GISデータセットサンプル



河川と流域界の背景にはAW3D30で作成したDSMとDSMからGISの機能で作成した多重光源陰影起伏(Multi-Directional Hillshade)を重ねて表示しています。DSMはこのホームページで提供しています。AW3D30は「標高+地上の建物高もしくは樹高」であり、カラマツの格子状防風林が美しく浮かび上がります。地理院の標高データ(このホームページで提供しているデータ)との使い分けが有効になる場合があります。

1:100,000



<データの出典>

標高、地上開度、地下開度、傾斜データの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報数値標高モデルデータを使用しました。(承認番号 平24情使、第109号)

行政界2019、河川、流域界データの作成に当たっては、国土数値情報(国土交通省)の行政区域、河川(線)、流域界・非集水域(面)データを使用しました。

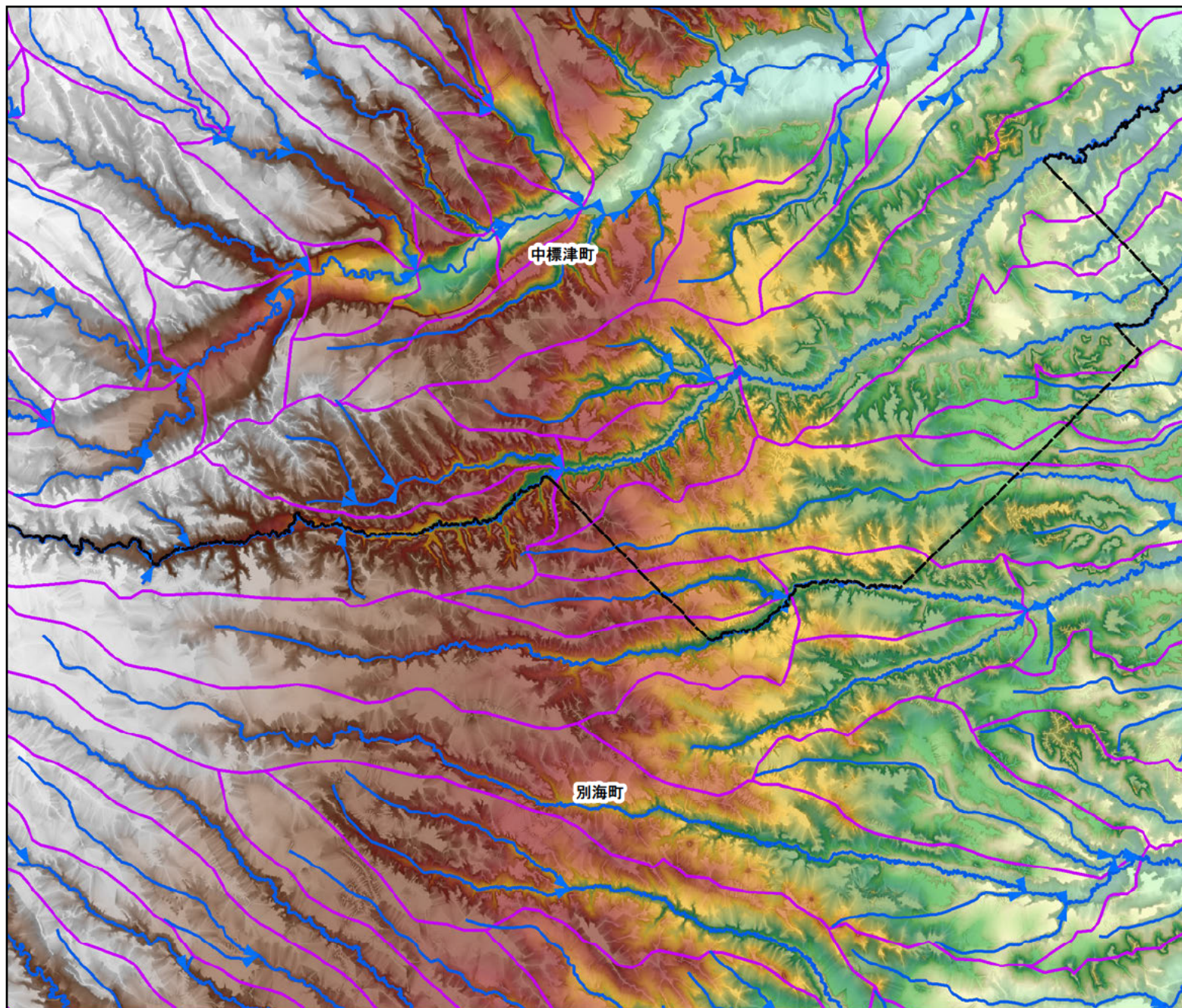
なお、行政区画2019データは2019年1月1日時点で掲載されていたデータ、行政区画を除く国土数値情報のデータについては、2012年5月31日時点で掲載されているデータと同一です。

標高、傾斜、地上開度、地下開度データは2011年9月30日時点で掲載されていたデータを編集加工して使用しています。

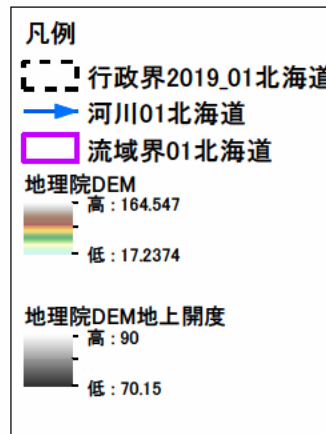
行政界2019年版データの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用しました。(承認番号 令元情使、第277号)

AW3D30解析地形データの作成に当たっては、宇宙航空研究開発機構(JAXA)から提供されているALOS全球数値地表モデル(DSM)「ALOS World 3D - 30m (AW3D30)」を加工して使用しました。

写真データには国土地理院の地理院タイルのデータを使用しています。

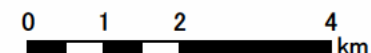


作成GISデータセットサンプル



河川と流域界の背景には地理院の標高とそれから作成した地上開度を重ねて表示しています。どちらもこのホームページで提供しています。地理院の標高はAW3D30とことなり地表の標高ですので、地形の形状そのものが非常によく分かります。AW3D30(このホームページで提供しています)との使い分けが有効になる場合があります。

1:100,000



<データの出典>

標高、地上開度、地下開度、傾斜データの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報数値標高モデルデータを使用しました。(承認番号 平24情使、第109号)

行政界2019、河川、流域界データの作成に当たっては、国土数値情報(国土交通省)の行政区域、河川(線)、流域界・非集水域(面)データを使用しました。

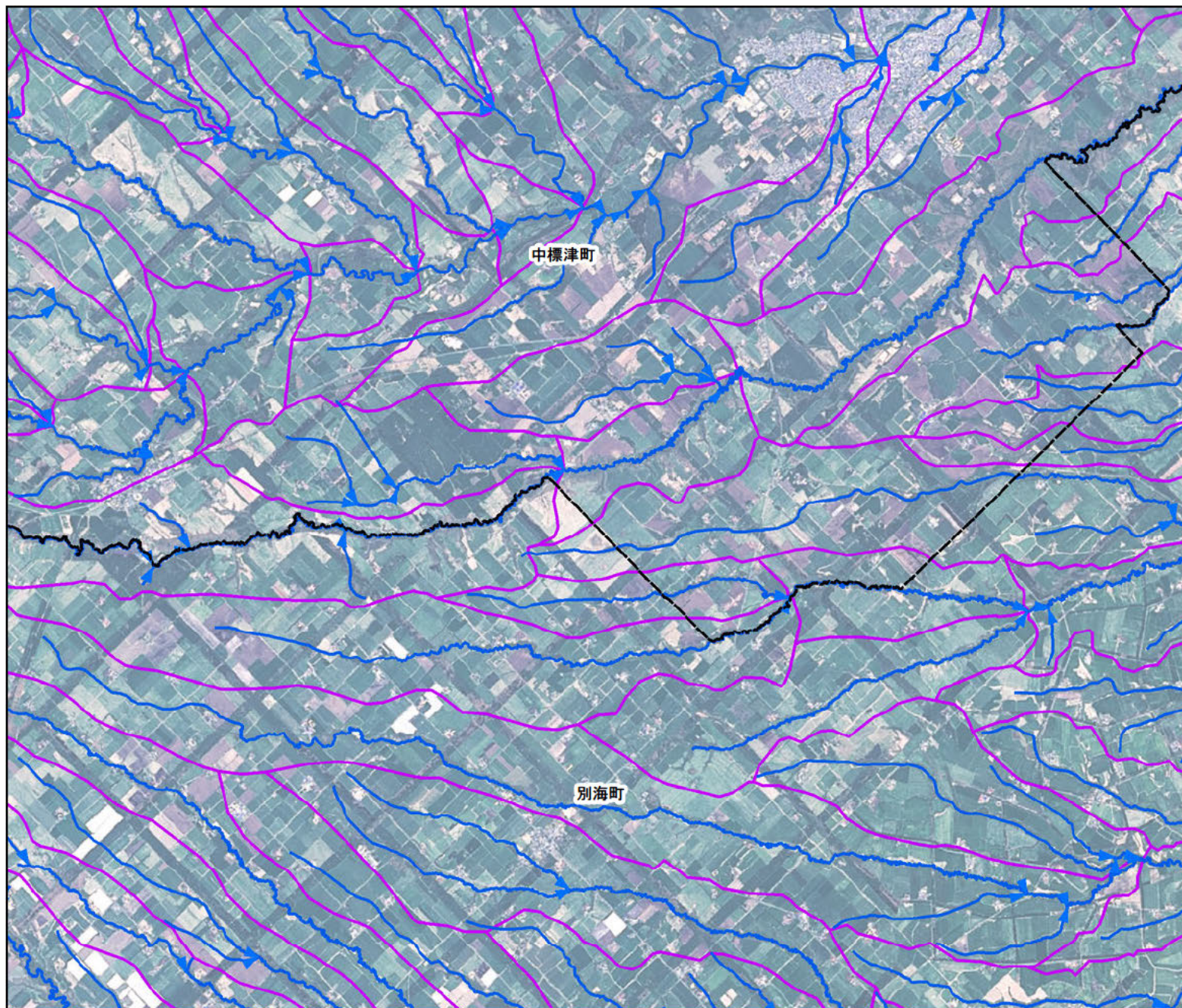
なお、行政区域2019データは2019年1月1日時点で掲載されていたデータ、行政界区域を除く国土数値情報のデータについては、2012年5月31日時点で掲載されているデータと同一です。

標高、傾斜、地上開度、地下開度データは2011年9月30日時点で掲載されていたデータを編集加工して使用しています。

行政界2019年版データの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用しました。(承認番号 令元情使、第277号)

AW3D30解析地形データの作成に当たっては、宇宙航空研究開発機構(JAXA)から提供されているALOS全球数値地表モデル(DSM)「ALOS World 3D - 30m (AW3D30)」を加工して使用しました。

写真データには国土地理院の地理院タイルのデータを使用しています。



作成GISデータセットサンプル

凡例

- 行政界2019_01北海道
- 河川01北海道
- 流域界01北海道

写真データには国土地理院の
地理院タイルのデータを使用しています。

1:100,000

0 1 2 4 km

<データの出典>

標高、地上開度、地下開度、傾斜データの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報数値標高モデルデータを使用しました。(承認番号 平24情使、第109号)

行政界2019、河川、流域界データの作成に当たっては、国土数値情報(国土交通省)の行政区域、河川(線)、流域界・非集水域(面)データを使用しました。

なお、行政区域2019データは2019年1月1日時点で掲載されていたデータ、行政界区域を除く国土数値情報のデータについては、2012年5月31日時点で掲載されているデータと同一です。

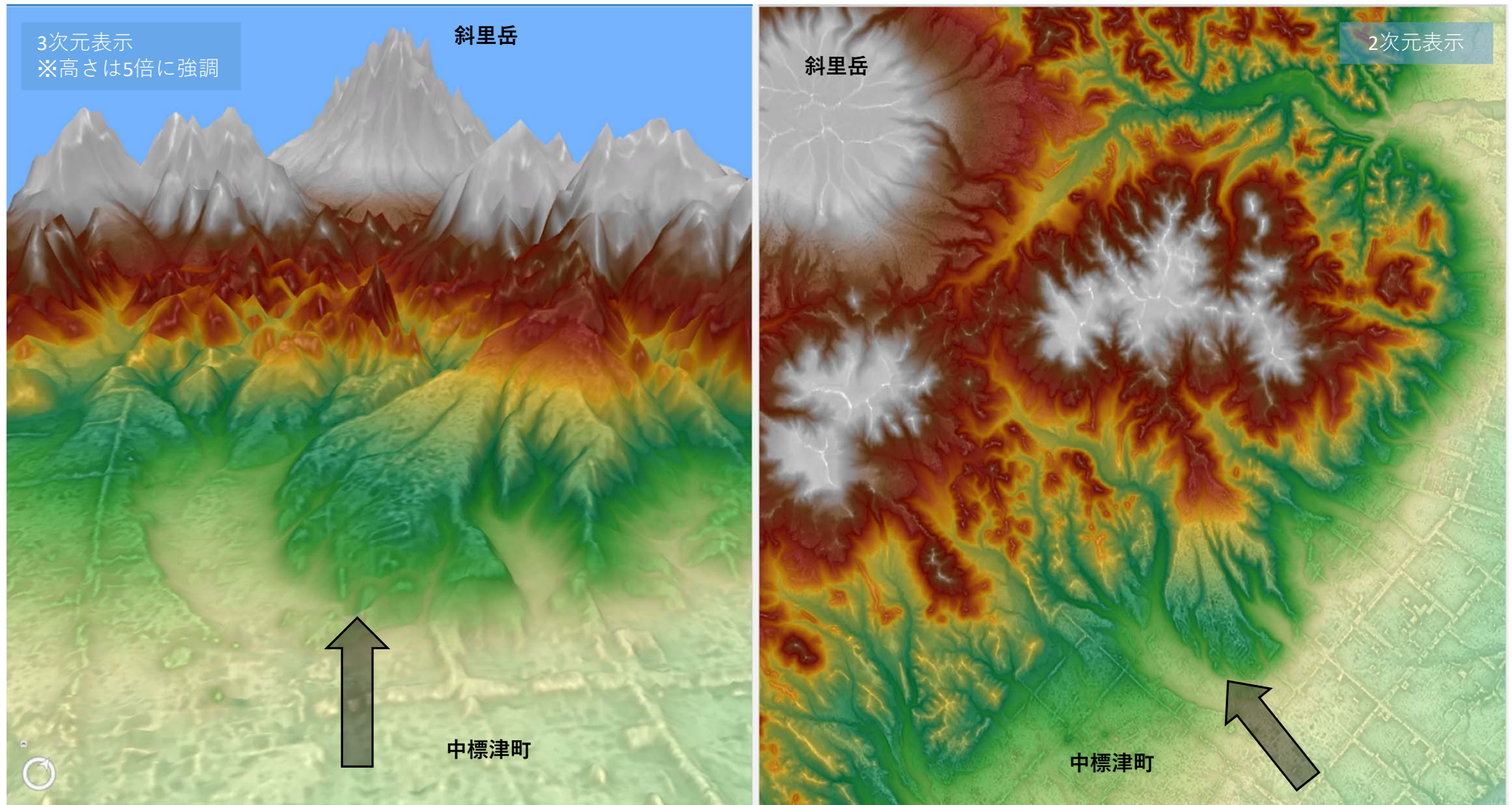
標高、傾斜、地上開度、地下開度データは2011年9月30日時点で掲載されていたデータを編集加工して使用しています。

行政界2019年版データの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用しました。(承認番号 令元情使、第277号)

AW3D30解析地形データの作成に当たっては、宇宙航空研究開発機構(JAXA)から提供されているALOS全球数値地表モデル(DSM)「ALOS World 3D - 30m(AW3D30)」を加工して使用しました。

写真データには国土地理院の地理院タイルのデータを使用しています。

AW3D30解析地形データ：DSM及び地上開度 による3次元表現例（2次元表示との比較）



DSMデータと地上開度データを重ねて表現した図で、左側は右側の2次元表示を3次元で表示したもの。DSMの高さを5倍に強調して表示。DSMデータでは地形に加え地上の構造物、樹木の高さも合わせて表現される。図の下部に線上に浮き上がって見えるパターンはカラマツの防風林である。

<データの出典>

AW3D解析地形データはコンサベーションGISコンソーシアムジャパンホームページ (<http://cgisj.jp>) のデータを使用。

AW3D30解析地形データの作成に当たっては、宇宙航空研究開発機構（JAXA）から提供されているALOS全球数値地形モデル（DSM）「ALOS World 3D-30m(AW3D30)」を加工して使用。